

量子物性と量子情報の協奏

近年、量子科学技術の研究開発が国内外で活発化しています。このような背景のもと、本シンポジウムでは、繊細で複雑な量子状態の制御に対して、量子状態固有の性質を真に享受するため、基礎物理に立ち返し、量子科学技術の発展と実用化を念頭に、量子物性と量子情報の融合に向けた今後の展望について議論します。

2023年3月16日 (木) 13:30~

会場 ハイブリット開催 (上智大学+オンライン)

招待講演者 (敬称略) と講演題目

- ◇ 小林 研介 (東京大学)
ダイヤモンド量子センサによる物性研究
- ◇ 浅場 智也 (京都大学)
チューリング機構を用いたマヨラナ準粒子の創発
- ◇ 森 貴司 (理化学研究所)
散逸と非平衡外場駆動の結合による量子制御の理論構築とその応用
- ◇ 黒山 和幸 (東京大学)
電荷・スピン・光子のテラヘルツ量子インターフェース
- ◇ 青木 隆朗 (早稲田大学)
共振器QEDによる原子と光子の量子操作
- ◇ 宇都宮 聖子 (アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社)
クラウドによる量子計算・量子技術の社会実装
- ◇ 川畑 史郎 (産業技術総合研究所)
量子コンピュータ・量子アニーリングマシンの最先端と物性研究への展開

世話人: 大岩 顕 (大阪大学)、松野 丈夫 (大阪大学)、笹川 崇男 (東京工業大学)